

## 金子校区まちづくりタウンミーティング 開催結果報告書

開催日時 令和5年8月4日 金曜日 19:00~20:40  
場所 地域交流センター  
司会・進行 金子校区自治会員2名  
参加者数 男 43人 女 15人 合計 58人



### 1. 市の重点事業に関する質問

【質疑応答】

(質問者)

第六次新居浜市長期総合計画の「まちづくりの目標6」に関連して、1点要望がある。

新居浜市は、皆さん承知のとおり、全国的にごみ排出量が多い街で、市民としても自治会としても非常に恥ずかしいことであると認識している。これからの10年間、できるかどうかは別として、循環型社会を実現してごみ排出量をゼロにする等の思い切った発想が必要ではないか。

ごみ問題というのは、文化づくりで、新居浜市が「ごみ排出量をゼロにする」と宣言して循環型社会を実現しようとするれば、市民もそのような気持ちになって文化が徐々に変化してくると思う。こういった文化をつくれれば、ごみ排出量はゼロに向かっていくという視点で、今後のPRや情報発信を行っていただけよう要望する。

(市長)

おっしゃるとおり、新居浜市の1人当たりのごみ排出量は、県内でもワーストである。

これを何とかしたいということで、去年は持ち込みごみの一部有料化をさせていただき、その効果が少し現れ、今までのごみはどこに行ったのか分からない程に減少してきている。

今後も、更にごみ排出量を抑制していかなければならないし、ごみの有料化も含めて検討する必要があると考えている。しばらく状況を見ながら、ごみゼロを目指していきたい。

## 2. 校区課題

### 課題名（自治会加入率低下と役員のなり手不足の問題について）

#### 【質疑応答】

##### （質問者）

自治会加入率の低下をどうにかしたい。久保田自治会は、過去には1,000世帯近くの加入があったが、それが現状590世帯でほぼ半減している。今後このペースで推移すると、数年後には300世帯、更にその先には100世帯といったように、本当に自治会を維持することができない状況がやってくることを危惧している。

そして、ごみの問題。マンパワー不足により、ごみステーションの管理ができなくなるのではないか。その他様々なサービスや自治会の行事も実施が難しくなると思う。

以前集計された自治会長アンケートの結果によると、自治会に加入しない理由は、「加入しなくても困らない、加入してもメリットがない、役員になるのが嫌だ」等が、また、自治会長が困っている理由の1つは、「役員のなり手がいない」こと等がそれぞれ挙げられている。

それらを払拭するため、第1段階では、地縁活動の原点となる10人位の組の改革から始めることが必要かと。住民が求めている緩やかな繋がりによる安心して住めるまちづくりを進め、住民が自治会の方を向いた上で、第2段階として問題解決型の組織改革に移行する方がよいのではないか。

2年前から2つのモデル地区で進めてきた協議会型地域運営組織では、このあたりをどのように考えているのか、示していただきたい。その方法が金子校区に有効である場合は、参考にして進めていきたい。

##### （市民環境部長）

まず、「きょうどう（共同、協同、協働）」という言葉について、立場・組織、活動及び目的をそれぞれ整理しているので、スクリーンを御覧いただきたい。皆さんと情報を共有したいので、それぞれの違いについて御説明させていただく。（詳細は別添資料を参照）

「協同」は、立場・組織の異なる人々が集まり、同じ目的を持って活動するということと、これが現在、宮西校区と中萩校区で進めている地域まちづくり組織（地域運営組織）の特徴になる。

両校区ともに自治会加入の問題と自治会の活性化ということについては、やはり大きな課題であって、地域課題でもあるため、様々な協議を進めてきたものの、なかなか直接的に効果のある事業は出なかった。

しかし、側面的な自治会の活性化の支援ということで、取り組んでいったらよいという対策・事業として1つ目は地域の情報発信の強化を、2つ目は地域の防災力を高めていく事業を進めていく中で、自治会の存在の再確認を、3つ目は自治会加入の有無に関係なく、地域の中で誰もが集まれる居場所づくりをそれぞれ進めていこうとしている。

これら3つを進めていくことで、直接的ではないが、今一度自治会への関心を高めていくことができるのではないかといった意見が出ている。

金子校区の皆さんも様々な取組をされているため、参考になるかどうか分からないが、地域の情報発信という面では、特に若い世代に向けて、ホームページやSNSを活用している。

私は宮西校区に住んでいるので、校区の取組については担当部長と地域住民という両方の立場で参画している。宮西校区では、これまで自治会を通じて配布していた公民館報とまちづくりの新しいニュースをタウン情報誌に折り込んで、校区の全世帯に配布する取組を今年から開始している。そうすると、やはり自治会の皆さんからは「皆、自治会を辞めてしまう」「自治会に加入しない人が増加するのでは」という声も確かにあった。色々と協議を進めてきてはいるが、宮西校区の自治会加入率は40%前後ということで、非常に厳しい状況にある。

自治会の活性化も大事であるが、やはり地域の方々に様々なまちづくりの情報を届けていくということも非常に大事なことだと考えている。自治会の役割等について再認識しながら、自治会の枠を超えた地域全体に情報を発信していく取組を開始したところである。

防災と地域づくりについては、これからの取組となるので、これから皆さんと協議しながら進めて参りたい。活動が開始されたばかりのため、なかなか成果をお知らせする時期にないにせよ、やはり地域の繋がりを大切に、地域で孤立する方がいないような繋がりのづくりを目指し、現在、宮西校区と中萩校区でモデル的に事業を進めている。今後事業の成果、課題等につき、皆さんに御報告させていただきたいと考えている。

#### (質問者)

防災面における自治会活動の例として、自治会（又は自治会長）の役割が明確化されればよいと考える。非常時、子どもが学校に避難した場合、おそらく一般の避難者と同様の立場でしかなく、そこには何の権限も持たない。

ある程度の権限と防災と絡めてのメリット、自治会長や自治会員にも様々な役割があるからメリットがあるというような防災組織づくりを検討していただけたらと。ちょうど金子校区でも防災計画を策定中で、そこに織り込んでいければよいと思う。そうすると、新しい地域まちづくり組織を考える上では、さらに具体的に掘り進めていけるのではないかと。であるならば、もっと単位自治会の力も必要だということで、メリットが出てくる。そこに自治会員の増加という1つの起爆剤、仕組みがつくれるのではないかとと思う。

#### (質問者)

コミュニティセンターとか協議会型の組織について、私たちは反対ではなく賛成の立場。

自治会が停滞している中、インセンティブを与えるためには非常によい方法だと思っている。

ただし、はっきり言って3年前に私たちも手を挙げて、対象にならなかったけれども、現在の中萩校区と宮西校区の進め方を文書で見ると、やはり少し順序が逆ではないかと思うところがある。共同の組織をつくるのは、もちろん非常によいこと。組織をつくと同時に、その母体はやはり自治会。自治会のネットワークを使わないと、組織が動かない。両方一緒に取り組むか、それとも母体の自治会をぐっと持ち上げた上で組織をつくるかという問題に対しては、並行して進めていかなければと考える。

(明石市と高松市の先進事例について)

高松市は、3年か5年に1回、住民アンケートを行い、プロジェクトチームをつくり、常に改革している。彼らは、住民と自治会をぐっと持ち上げて、ネットワークを構築した上で、組織をつくって合体させてやろうと。

高松市も明石市もネットワークを非常に重視して、自治会加入率を押し上げている。自治会加入率が上昇すれば、当然共同体も活動することができる。そういう意味において、2つの校区は、少し不十分な感が否めない。ネットワークの構築に力点を置かなければ、上手くいくことはないだろう。もし金子校区が、来年実施するかどうかは不明であるが、実施すると決めた場合には、必ずそのように行うつもり。でないと、組織だけつくっても後ろに誰もいないことになるから。これが2つの校区の短所であろうと思っている。

(泉川校区と多喜浜校区の取組について)

泉川まちづくり連合自治会で彼らは、やはりネットワークを構築した上で、その横に部門を置いている。学習会、総代会等同じことをやっており、既に出来上がっている。

多喜浜校区は、毎月開催の自治会長会に連合自治会長が自治会長を集めるほか、各種団体の長も全員参加している。組織はできていないが、同じことではないか。要は、ネットワークを構築した上で、皆さんが協力しているという状況。そんな多喜浜校区の自治会加入率は70%。金子校区は60%弱である。

今はやはり、自治会のネットワークを構築した上で、組織をつくる必要があるし、両方に取り組みないことには、やはり上手くいかないと思う。ここで4点提案したい。

1点目 3年か5年に1回の頻度で住民アンケートを実施（他市事例を参考）

「自治会に加入してよかったプロジェクトチーム」の立ち上げ

メンバー 40歳、50歳代の若手で将来自治会を担う人で構成

相互に意見交換するとともに「自治会に加入したらこういうよい面がある」等、地域住民に周知していく方式。これを金子校区単独ではなく、新居浜市全体で導入してはいかかがか。

2点目 市政日より「にいほま」の更なる活用

毎月見開き2ページ程度の紙面を割いて、自治会コーナーをつくって順番に自治会のPRをしていく（例えば、インタビュー形式）。毎月掲載すれば、読者である地域住民の意識も違ってくるはず。

3点目 新居浜市役所から事業者への自治会加入に関する知見の伝達

新居浜市職員の自治会加入率（99%）の高さに着目

その知見を比較的規模の大きな事業者（の社員）にも伝達していただきたい。

新居浜市役所はこんなことをして加入率が99%に上昇したということをして、事業者にも参考にしていただくことで、加入率の向上に繋げたい。この働きかけは、自治会ではできない。

4点目 自治会未加入世帯への確実なごみカレンダーの配布（毎年戸別訪問）（他市事例を参考 市が配布しているか自治会が配布しているかは不明）

新居浜でも実施しているが、正直なところ真面目に取り組んでいない。徹底されていない。熱心に取り組めば、必ず自治会加入率は向上するはず。

**（質問者）**

役員のなり手不足の問題は、自治会加入率が上昇すれば、必然的にこれが繋がって丸く解決するのではないかと考えている。

参考までに、久保田自治会では報奨金制度を採用しており、多額ではないが1会議当たり1,000円、2,000円単位でお渡しするようにしている。

**課題名（市指定有料ごみ袋制定の件）**

質疑応答（要約）

**（質問者）**

平形自治会では、自治会への加入の有無を問わず、皆さんがごみステーションを利用されている。問題は、「自治会に加入しなくても何も困らない、ごみを捨てることができる」ということ。そこで、ごみ袋を有料化して自治会加入者に対しては、有料ごみ袋を無料又は廉価で配布するという制度を導入してはどうか。

有料化に伴い、自治会加入者が自治会に幾らかお金を渡す。そのお金で有料ごみ袋を自治会が購入して自治会加入者に配布するといった内容である。

他にも、市に歳入が見込まれるため、その一部を例えば自治会の人数割によって算出したお金を自治会に支出する等、相手方が個人であれば問題があるが、自治会に支出するわけであるので、その自治会を通じて有料ごみ袋を購入してそれぞれに配布していくという

ことも考えられるのではないか。

それによって、「自治会に加入しなくても何も困らない」という考え方から、「多少でもメリットはある」と認識していただくことが重要。

スーパーやコンビニのプラスチック製のレジ袋をそのままごみ袋に利用して排出する人を多数見かける。人の意識が変化すると、マイバック利用者が増加してくるだろうし、ごみの減量化も図られるかと。

例えば、週に2枚配布しても不足する家庭は、スーパーで購入していただければよい。可能であれば、週2回分を賄える有料ごみ袋の枚数を数か月に1回、自治会が購入して各家庭に配布するという方法を考えればよいのではということをご提案する。

※100枚が困難なら80枚でも、各家庭の実情に応じて配布すればよいとの補足あり

### **(環境エネルギー局長)**

最初に想定していた内容と少し変わってきたので、今、頭の中を整理している。

そもそも、ごみの有料化とは何かということをご説明すると、市も常に有料化について検討している状況で、しかも過去と現在の有料化は、意味合いが少し異なってきている。現在において有料化する1つの考え方としては、人口が非常に減少してきて、ごみ処理の非効率化が進んでいる状況が全国で起きている。

ごみ処理は、市が処理施設をつくり、収集し、処理施設で処理をする流れであるが、その経費は高騰し、かつ、人口も減少しているので施設規模が非常に小さいものとなっている。そうすると、固定費が高騰している分、1人当たりで換算すると、どんどんお金がかかってきて、今考えないといけないのは、そういった社会情勢の中で持続可能なごみ処理をどうやって確保していくかというのが全国的な課題。

有料化することによって、例えばごみ減量化を進め、コンパクトなごみ処理をしてしまう。つまり、もっとぐっと小さくして、処理施設を例えば近隣の市と共同して1つのものにして経費を動かしていくであるとか、あるいは収集、有料化で一定の財源を確保することによって、持続可能性を高めていくというような考え方が今の時代の有料化の目的。

そういった意味から最初の質問にお答えすると、地方自治法の規定による特定の行政サービスに対する手数料なので、自治会加入の有無によって額を変更することはできない。自治会が購入して会員に配布することは可能かと。

ただ、その有料化によって何をやるのかという視点からいうと、先程市長から説明があったが、新居浜市はごみ排出量が非常に多いということで、その原因の多くは直接搬入ごみであるという判断の中、有料化を昨年の10月に実施した。これが経済的インセンティブという効果がものすごくてき面で、3割程度までに下がった。3割ではなく7割減少したということ。

新居浜市のごみ排出量は、収集ごみは他と比較してそこまで多いわけではないが、本当に少ないところと比較すると、まだ多いということで、経済的インセンティブが働く余地、可能性が高い。

そこに、経済的インセンティブを駆使してごみを減量化したり、あるいは民間リサイクルルートに流していく。現在、「にはま3Rネットワーク」といって、様々なところに紹介して、市に来なくてもごみ処理ができるよう積極的に行っている。そういったところに誘導していく効果を狙っている。

結局、どこの財源かはともかく「無料で100枚」というと、1年間で排出するごみが賄える量であるが、そうすると、その後配布された人に経済的インセンティブが働かなくなるので、せっかくそういうことをするのに減量効果が現れないのではないかと思う。

あと、有料化そのものは、ごみの減量であるとか、財源確保が目的なので、先程の他の提案に関しては、そのとおりではないかと考えている。

それから、少し本題から外れるが、プラスチックのごみの減量というのは、これは有料化に関係なく袋は必要なので、そんなに減少するわけではない。ただ、指定袋の場合は、バイオマスプラスチックを導入している事例もある。

そういうことによって、袋は必要であるが、比較的CO<sub>2</sub>が排出されないカーボンニュートラルの袋は導入が進むということもあるので、それは実際にそのときに検討したい。

#### (西条市の取組)

補足であるが、誤解を招いているといけないので、西条市の取組についてお話しする。

同市は、この4月から全て一律有料で指定袋制。自治会加入の有無は関係ない。もともと同市は、一定量無料型有料化という全国でも非常に珍しい方法で、一定量は無料だがそれ以上排出する人に対しては有料にするということで、100枚までは有料ごみ袋を無料で配布するというをやっていた。

ただし、皆さんが有料ごみ袋を市役所に取りに行くのは大変だから、自治会分は自治会を通じて配布してくださいということを行っていただけ。同市は、この方法を続けても本格的なごみ減量化に繋がらないので、早くやめたいということをやっと検討されていて、この4月からそれをやめたという経緯である。

#### (質問者)

ごみ処理の関係で2つ提案がある。

ごみ処理の中でも、生ごみを燃やす処理に随分お金がかかっているのではないかと推測する。生ごみに水切りネットを使用して、一晩水を切ってごみとして出すというようなことをすれば、燃料費が相当浮くのではないかと。各家庭に水切りネットを配布してみてもいいか。

もう1つ。市役所に行くと、「こういうものが欲しい」「こういうものを譲る」という掲示板がある。これだけかと思えば、ホームページで検索すると色々なものに出会える。観音原の施設に行くと、まだ使用できるような製品が捨てられている。私も孫のためにベビーカーを探したり、譲ったりした経験があり、便利だと感じているので、わざわざ高い物を買わなくて済むし、ごみにもならないといった長所をもっと市民の方々に広めることが

できればよいのではないか。

#### (環境エネルギー局長)

生ごみの水切りは、ごみの減量に非常に有効。私たちも今年、食品ロス削減推進計画を策定し、ホームページに掲載しているが、その中で生ごみの水切りをしましょうと宣伝している。

ただし、それが経費節減に繋がるかという点、今、燃料費が安くなるとおっしゃったが、市の焼却システムは、基本的に最初の立上げのときにはバーナーを焚き、そこからずっと自燃して燃料を一切使用しないので、そんなに処理費が変わるわけではないけれども、やはり量自体は減少するため、有効かなと考えている。

それともう1つ、リユースのお話があった。

不用品伝言板は、結構以前から実施しており、これも新居浜市の特徴的な方法といえる。同様の方法で実施しているところは、それほど聞かない。

「譲ります、譲ってください」だけでは少々物足りないということから、今は様々なチャレンジをしている。ありがとうサービスさんという今治市の会社で、市内でブックオフやハードオフを展開されている会社と連携・協定を締結し、様々な実験をしましょうということで、1つは、市清掃センターに搬入された物の中で、リユース可能なもの、これは市内リユースでなく、海外リユースの方が主であるが、例えば小物だったり、食器だったりを処理せずリユースに回すということを行っている。

さらに本年6月末、ワクリエ新居浜で福祉作業所が中心となって、リユースの回収を行うイベントをさせていただいている。

その他にも可能性のあるものは、色々考えていきたいと思っている。

#### 課題名 (不法投棄ごみ、未分別ごみ対策について)

質疑応答 (要約)

#### (質問者)

次のごみの問題、私の方では、不法投棄やごみステーション内で分別できていないごみについて、質問させていただく。

まず、ごみの分別ができていなければ、ごみ収集車は回収しない。伺っているのは「もし未回収のごみがあれば、市に連絡を。回収するから」と。そうであれば、ごみが未回収になる場所というのは、大体決まってくるもので、人目につきにくいところに集中する傾向がある。

いわゆる紙が張られた状態で何日待てども、未回収ごみを持ち帰る人は、皆無。困った自治会から市に連絡をする。その繰り返しである。

であるなら、極論だが、一律に全てのごみを回収していただけないかと切に願う。ごみステーションを管理する側とすれば、どうしても紙が貼られた状態の未回収ごみを見せたいのであれば、丸1日置いて回収していただく等、そのような形で対応していただけると

大変有難い。

**(環境エネルギー局長)**

おっしゃることは理解できる。

私の立場から、通常のお返事をさせていただくとすると、現在、新居浜市は「10種16分別」という分別収集を行っている。どうして「10種16分別」にしているかという、公害を出さないよう適正に処理すること、効率的に処理すること及び資源化を進めること。このような目的のもと実施。全国的には平均か少し多い方かもしれない。

よって、何でも搬出して何でも回収する状態にすると、そういう前提が崩れてしまうおそれがある。

それでは、どうするかという、先般、廃棄物対策課長から、公務で外国人の方々とお話しする機会があり、ベトナムではごみを分別する習慣はなく、全て回収してくれ、後で他者が全て分別するという説明を受けた。

しかし、そのようなことは日本では実現不可能。適正な処理をするために、何台もの車両が連なり、現地で全て分別した上、積み替えて回収することになるだろう。非常に効率が悪く、お金もかかってしまい、そのお金を誰が負担するのかということにもなる。

なので、今、定期収集としての目的物だけを回収させていただかないと、施設で適正に処理できないという問題が生じる。その後、「特別に回しましょう」とパトロール車（2、3台）を保有しているため、御連絡いただければ、そこはピンポイントで回収することが可能。

それも難しく、取り残しの紙を貼っているとのことであったが、私の加入している自治会では、ごみの問題は殆どなかったものの、最近少しずつ増加しており、1週間程度の期間はごみをそのまま置いたりしてみた。が、どうも音沙汰なく、市に連絡して回収されたということが実際にあった。

この期間が短いと、ここはもう1日我慢していたら回収してくれることを経験上分かっている人に対するさじ加減の困難さはあろうと思う。

それも地域毎に事情が変わり、御理解いただいていない方が特定される場合は、例えば私たちが行ってそれを御指導させていただくということも可能。

**(質問者)**

先程の生ごみの件で、平形自治会の事業でSDGs（段ボールコンポスト）を実施した。この間、自治会館で講習会を開催し、9人の参加があった。

こういった事業に関しては、皆さん活発に実施しておられるので、各種団体さんにもどんどん推進していただけないかと思う。

**課題名（非自治会員より徴求する市内統一の届出書の制定について）**

質疑応答（要約）

**(質問者)**

北庄内自治会は、何か困り事があれば市役所に行って御指導を受けている。この場を借りてお礼を申し上げたい。

要は、届出書を非自治会員から徹底していただくということで、突き詰めれば非常に奥が深い。

やはり届出書は、市役所と協議する中で決めていって、そしてお客さんのところへ行くと、コミュニケーションがまたそこで生まれる。非自治会員とのコンタクトをアップするという面においても、非常に意味がある。

最終的に北庄内自治会では、自治会の加入率アップに繋がっている。これから先、半年後には市からさらに回答をいただけるのではないかなと。自治体と自治会が一体となって身近に考えてくれていると感じている。これが私としては一番大事なこと。今後も御指導をよろしく願います。

#### **(廃棄物対策課 副課長)**

届出書については、事前に準備していた回答のとおりであり、統一してお示しするのは難しい。それぞれ自治会の御事情もあり、また市の方で誘導するようなことになっていけないので難しい部分があるが、今回の地域環境維持活動支援交付金のことも含め、色々と考えられて、自治会未加入の方のごみステーションの利用ルールとして、新たに自治会費に相当する額の利用料を徴収することとした自治会が実はあり、それで事前に決定に至るまで、そちらの自治会の役員の方とお話をさせていただき、それで方向性を決定したという事例が1件ある。

ただし、利用料に関し、金額の設定等に関する説明を求められた場合、こういう経費がかかっているので、自治会としては未加入の方にこれだけの金額をお支払いいただくといった説明責任は、自治会にある。

その件で、実際に「自治会未加入の私が、自治会のお世話により管理されているごみステーションを利用させていただくのだから、利用料を支払うのは理解できる。ただし、未加入者全員から本当に自治会は徴収できるのか」と市に問い合わせもあった。

そういった公平性という意味合いでどうなのかといった声もあり、自治会としてそういう取組をされる場合は、対外的に公平性が保たれるような説明、言葉は強いが覚悟のようなものも必要になってくるのではないかと考えている。

そういったところで、今後ごみの問題については、なかなか1つこれをやったから解決するというのは難しい点があるので、今後も自治会さんと協議をさせていただきながら、少しでも自治会の負担を軽減しながら、また効率的な収集ができるよう、また相談にもものっていただけたらと考えている。

### **3. 市長まとめ**

皆さん、熱心な御議論をいただいた。本日の新しい運営方式は、なかなか新鮮で、記憶に残るような議論ができたのではないかな。

自治会の問題、ごみの問題。いずれも大変な課題で、長年の懸案でもあるので、前進をしてないのが実態。まだまだこれから皆さんと議論をしていながら、解決をしていきたい。

本日は結論を出さないということで、いただいた御意見を持ち帰り、また改めて皆さんと協議をさせていただいたらと思っている。

須山会長が言われた自治会加入率向上のための4つの提案。これは私もなるほどなと思うところがあるので、早速検討をさせていただく。

自治会加入率は、長年低下している。もう50%を切りそうだということで、50%を切るということは、その地域の問題等を議論するのに、自治会さんを相手にしてもどうかという、そういう問題である。

そこで出てきたのが、この地域運営組織という高松方式。色々な団体を取り込んで、意見を聞いていこうということだが、それでも須山会長が言われたように、いわゆる自治会のネットワークというのは、どうしても大事なことであるので、自治会も1つの組織として加入率を上げていただくことがまだまだ大事だと。またひとつよろしく願います。

ごみの問題についても、御提案いただいた水切りネットもぜひまた検討したいと思う。もう1つは不用品交換。古くて新しい課題だと思うが、今はインターネットを使ってのマッチング、メルカリのようなサービスもあるので、それはそれで進めながら、1つ1つが直接相対で不用品交換をするようなことも1つの意識改革になるのではないかな。

## 2

## きょうどうのイメージ

共同、協同、協働という言葉がありますが、立場・組織の属性面、活動のスタイル面、事業の目的面などから、次のように分類・整理するものとします。

	立場・組織	活動	目的	例
共同	同じ	同じ	同じ	自治会 ・共同体 ・共同利用
協同	異なる	同じ	同じ	地域まちづくり組織(地域運営組織) ・協同施設 ・協同組合
協働	異なる	異なる	同じ	・市民と行政 ・企業と行政 ・市民と企業

# 地域運営組織について

地域内の各種団体が力を合わせて連携・協力・補完し合える仕組みづくり

## 地域運営組織のイメージ

### 協議



### 実行

自治部会

防犯部会

環境部会

福祉部会

教育部会

地域課題事業や活動の実践

### 活動例

買物支援



外出支援



声かけ・見守り



令和5年度宮西校区及び中萩校区における地域運営組織の始動  
→防犯・防災、環境、福祉、教育など地域課題の解決と地域の活性化

(令和5年度)  
2校区での組織運営支援  
及び活動状況の評価

# 回覧・郵送文書の データを掲載しています！

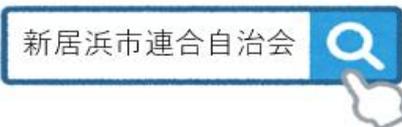
新居浜市連合自治会では、ホームページ上で毎月自治会長さんにお送りしている定期便と、公民館にお届けしている回覧文書の電子データを掲載しています！

- ☑回覧物の印刷や配布などの手間を省き、効率化
- ☑回覧板が来るまでの時間もかからないため、緊急時の連絡を容易に自治会内での回覧文書の電子化等にぜひご活用ください！



こちらのQRコードにスマホのカメラをかざしていただくと、新居浜市連合自治会のホームページに簡単にアクセスできます！

## ①「新居浜市連合自治会」で検索



## ②新居浜市連合自治会のホームページを開き、「電子回覧板」の下にある、「令和5年度分」をクリック



こちらをクリック！



新居浜市役所ホームページ内  
「新居浜市連合自治会」  
ウェブページ上に自治会向けの  
行政依頼情報データを掲載